

M1A-17D ガスタービン



2020

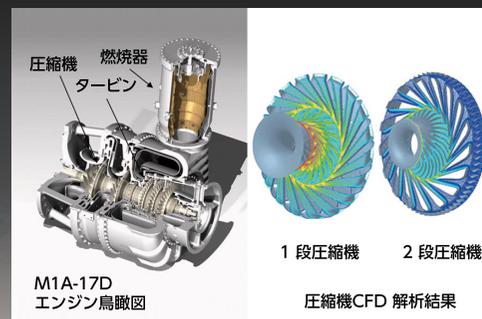
Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

2014年：初回登録

川崎重工業株式会社

総合技術で、クラス最高効率、
NOx低減を実現

前モデルに比べて発電効率が 2.4% 向上し、
クラス最高効率を実現するとともに、業界トップクラスの
NOx 排出量 35ppm(O₂=0%) を達成しました。



M1A-17D
エンジン鳥瞰図

1 段圧縮機 2 段圧縮機

圧縮機CFD 解析結果

製品紹介

圧縮機やタービンの流路形状変更や構造面での改善等による高効率化とともに、
低 NOx 保証を実現する DLE (Dry Low Emission) 燃焼器を採用している
発電用ガスタービン

特長

- 圧縮機やタービンの空力最適化設計による高効率化で、クラス最高性能を達成
- 燃焼器のバーナや流路形状の改善による低NOx化で、
業界トップクラスの環境性能を実現
- 前モデルからの基本構造踏襲による高信頼性の確保